

令和7年度 ハイフン事業 ひきこもり状態にある当事者の家族教室 開催要項

1 開催目的

当事者や家族、支援者が交流する場としてひきこもり支援事業を始め、定着しつつある反面、支援機関と関わっていない当事者は社会に参加しづらい現状にあります。

また当事者がひきこもりになる理由や社会に参加しづらい理由に、家庭環境や家族との関係が強く影響していることも多く、家族への支援や孤立を防ぐ支援をする場が求められています。

家族負担の軽減や家族関係の改善、相談機関の利用促進を図り家族の孤立を防ぐため、「CRAFT」についての講義、ロールプレイングなどを交えたその実践についてとしてハイフン家族教室を開催します。

2 内容

- ・講師より「CRAFT」についての講義、ロールプレイングなどを交えたその実践について

※「CRAFT」とはクラフト：コミュニティ強化と家族訓練：Community Reinforcement and Family Training のことで、認知行動療法の技法を応用しており、日本では厚労省のガイドラインにおいて、ひきこもりの家族支援として取り上げられ、今後、ひきこもりの若者支援において活用が期待される考え方です（ひきこもりの家族支援ワークブックより）

3 講師 メンタルワークス大阪 代表 岡崎 剛 氏（臨床心理士）

4 開催日時

第1回 令和7年 9月 8日（月）

第2回 令和7年 10月 20日（月）

第3回 令和7年 11月 17日（月）

※各回とも14時～16時です。

5 参加費 無料

6 定員 30名（先着順）

7 会場（予定） 高槻市地域福祉会館 3階研修室 （〒569-0065 高槻市城西町4-6）

8 対象者 ひきこもり状態にある当事者の家族、家族支援をしている方

<申込・問合せ先>

社会福祉法人 高槻市社会福祉協議会 地域共生推進課 CSW 担当 鈴木/中村

TEL：072-674-7494 FAX：072-661-4901

E-mail：tappy-shakyo1972@takatsukishi.com

家族教室の目的と参加にあたってのお願い

- ・家族教室は家族が当事者へのよりよい関わり方を考えるもので、当事者を変えるものではありません。
- ・いろいろな家庭状況があります。どこに関わり方のヒントがあるかもしれませんので、積極的な参加をお願い致します。

【参加申込書】（FAX 送信先：072-661-4901）

令和7年8月29日（金）締切

名前： _____ 年齢： _____

当事者からの立場：母 ・ 父 ・ 兄弟 ・ その他（ _____ ） ・ 支援者（所属： _____ ）
（○をつけてください）

電話番号： _____

住所：（〒 _____ ） _____

※本家族教室に伴う個人情報については、当事業に関してのみ使用し、その他の目的では使用いたしません。

※電話での申込もできます。